

公益財団法人川崎市生涯学習財団
平成28年度 事業報告

公益財団法人川崎市生涯学習財団が定款第4条に基づき実施した平成28年度の事業実績は以下のとおりである。

I 公益目的事業

1 生涯学習に関する学習機会及び情報の提供並びに活動支援事業(公1)

(1) 生涯学習に関する学習機会提供事業 (公1)

①かわさき市民アカデミー協働事業 (定款第4条第1項第1号)

「かわさき市民アカデミー」は、高い専門性を備えた継続的で系統的な学びの場であり、川崎市が全国に誇れる市民大学である。

平成23年度にNPO法人川崎市民アカデミーに運営を移管し、当財団は事業広報と会場の確保、対外活動支援等の役割を担い、引き続き協働事業として実施した。

ア) 会場の確保

生涯学習プラザ施設利用 388件
生涯学習関係施設利用 58件 (高津市民館他)
新百合丘21施設使用料負担 131件 2,615千円

イ) 広報関係協力

広報チラシ折り込み等負担 2回 2,503千円

ウ) 三者連絡会議の主宰

生涯学習財団、認定NPO法人川崎市民アカデミー、市民アカデミーによる協働事業連絡調整を行った。

	28年度	27年度	26年度
回数	4	4	4

エ) シニア活動事業としての市民アカデミー地域協働講座

	28年度	27年度	26年度
講座数	10	11	11

○かわさき市民アカデミー

認定NPO法人かわさき市民アカデミー (理事長藤嶋昭) が運営主体、かわさき市民アカデミー (学長太田猛彦) が講座実施する。

ア) 開講式 (第25回)

日時: 平成28年4月7日 (水)

対象: 2016年度 前期受講生

出席者: かわさき市民アカデミー学長、認定NPO法人かわさき市民アカデミー理事長、川崎市生涯学習財団理事長、川崎市教育長ほか

来賓: 川崎市長

内容: 式典、記念講演「学力格差は幼児期から始まるか

～どの子も伸びる共有型しつけのススメ」

講師: お茶の水女子大学名誉教授 内田 伸子

	28年度	27年度	26年度
参加者数	85	144	138

イ) フェスタ

日 時：平成28年11月5日(土)・6日(日)

内 容：

- ・基調講演(11月5日) 第1部(14:00~15:15)
第2部(15:45~16:45)

講師 熊本県立劇場館長 姜 尚中

- ・講演、演奏、子ども理科教室、模擬熟議、朗読、展示、フリーマーケット、スポーツ体験、ミニワインセミナーなど

	28年度	27年度	26年度
参加者数	1,030	907	836

ウ) 受講生のつどい

日時 平成29年3月3日(金)

対象 講師・受講生

内容 修了式/落語 竹廻家寿々女/各講師挨拶など

	28年度	27年度	26年度
参加者数	101	103	97

エ) 平成28年度の講座・ワークショップ等開設数

	28年度	27年度	26年度
講座等開設数	105	104	99

オ) 会員・聴講生の受講者数

平成28年度(延べ受講者数)

	28年度	27年度	26年度
会 員 数	4,671	4,163	4,074
聴 講 生 数	2,211	2,407	2,336
合計(前期・後期)	6,882	6,570	6,410

②青少年地域間交流事業(ふれあいサマーキャンプ)(定款第4条第1項第1号)

公益財団法人川崎市生涯学習財団が川崎市教育委員会、一般財団法人川崎教職員会館とともに、PTA、校長会、青少年団体等で構成する「川崎市青少年地域間交流事業実行委員会」を設置し、川崎市の小中学生が、交流自治体との連携の中で子ども同士の交流や、豊かな自然や生活・文化にふれることにより、心身ともに健康に育つことを目的として実施した。

また、交流事業の一環として交流自治体(古座川町)の青少年の川崎市への受入れを行った。

事業実施内容

ア) 北海道中標津町コース(8月17日~20日、3泊4日)小・中学生

(宿 泊) 若竹の里及び旅館

(主な活動) 食品加工実習(アイスクリーム・バター・ソーセージ)、工場見学、学校訪問・交流、木工ペンダント作り・摩周湖見学

- イ) 岩手県花巻市コース (8月2日～8月5日、3泊4日) 小・中学生
 (宿 泊) 公民館及びホームステイ
 (主な活動) 昆虫生態観察、さき織り・和紙すき体験、カヌー・ボート体験、農業生活体験、SL銀河乗車、地元の方々との交流
- ウ) 長野県富士見町コース (7月30日～8月2日、3泊4日) 小・中学生
 (宿 泊) 八ヶ岳少年自然の家
 (主な活動) 軽登山、酪農体験、川遊び、カレー作り、自然観察、天体観測、キャンドルファイヤーなど
- エ) 和歌山県古座川町・太地町コース (7月26日～7月29日、3泊4日) 小・中学生
 (宿 泊) ホームステイ及び旅館
 (主な活動) 地元小学生との交流、ゆずマーマレード作り、熊野古道ウォーク、川遊び、カヌー教室、くじら博物館見学など
- オ) 島根県益田市コース (7月23日～26日、3泊4日) 小・中学生
 (宿 泊) 公民館、集会場、ホームステイ
 (主な活動) 地元の小中学生と交流、石見神楽見学、ハイキング、川遊び(生物観察) など

	参加者数		
	28年度	27年度	26年度
ア 北海道中標津町コース	19	23	23
イ 岩手県花巻市コース	22	11	22
ウ 長野県富士見町コース	31	39	42
エ 和歌山県古座川町・太地町コース	21	24	25
オ 島根県益田市コース	17	12	20
合 計	110	109	132
引率者	35	31	37

- カ) 交流自治体の青少年受入
 和歌山県古座川町受入(8月24日～26日、2泊3日) 小学6年生
 (宿 泊) 川崎市青少年の家
 (主な活動) 歓迎式(教育長ほか)、学校交流(中野島小学校)、古座川町コース参加児童との交流、東芝未来科学館見学、よみうりランド、岡本太郎美術館見学など

	28年度	27年度	26年度
児 童 数	14	12	7

- キ) 参加者交流会&報告会(今年度初めて)
 古座川町・太地町コース参加者(中学生)の提案により実施した。
 日 時:平成28年12月3日(土)14時
 参加者:古座川町・太地町コース参加者12名、保護者、引率者
 会 場:生涯学習プラザ

③キッズセミナー(定款第4条第1項第1号)

認定NPO法人教育活動総合サポートセンターとの連携・協力事業。小学校3年生から6年生を対象に、夏季休業中に体験活動等を通して新たな興味・関心を喚起しながら、学習活動の充実を図ることを目的に実施した。

- ア) 期 間 平成28年7月25日(月)～7月29日(金)の5日間
 イ) 実施内容 理科、算数、工作、パソコンなど延べ23講座
 ウ) 対 象 生涯学習プラザに通うことのできる市内在住の小学校3年生から6年生
 エ) 講 師 認定NPO法人教育活動総合サポートセンターに登録している教職経験者

	28年度	27年度	26年度
受講児童数	315	310	319
延べ受講者数	951	856	760

④子ども陶芸教室(定款第4条第1項第1号)

生涯学習プラザ陶芸室を活用し、陶芸を学ぶ市民(陶芸教室受講生)のボランティア活動を促進するため、学校の夏季休業期間に小学校5年生～中学2年生を対象とした陶芸教室を実施した。

	28年度	27年度	26年度
参加者数	20	29	27

⑤施設提供事業(定款第4条第1項第1号)

生涯学習プラザの施設(多目的ルーム、フィットネスルーム、活動室、研修室、会議室等)を年間345日にわたって貸館提供した。

区 分		401会議室	301会議室	201会議室	202会議室	101活動室		
件数	28年度	456	504	429	441	463		
	稼働率 (有料稼働率)	44.4% (18.2%)	49.1% (16.1%)	41.8% (21.0%)	42.9% (27.1%)	45.1% (32.6%)		
	27年度	450	512	484	509	518		
	26年度	449	574	488	507	506		
区 分		402フィットネス ルーム	302多目的 ルーム	203活動室	303研修室	B1実習室	合 計	
件数	28年度	1,503	1,409	1,271	127	338	6,941	
	稼働率 (有料稼働率)	73.2% (58.0%)	68.6% (62.2%)	61.9% (49.4%)	12.4% (0.8%)	32.9% (0.2%)		
	27年度	1,519	1,413	1,110	100	337	6,952	
	26年度	1,426	1,458	1,100	171	360	7,039	

注1 会議室、101活動室、研修室、実習室、の利用件数は午前・午後・夜間を各1件として積算、203活動室、多目的、フィットネスルームについては2時間単位を1件として積算。

(成果・課題等)

- ・かわさき市民アカデミーは、認定NPO法人かわさき市民アカデミーと協働して実施し延6,833人の受講者に学習機会を提供した。NPO法人の主体的な運営に向けどのような支援が望ましいか検討する。
- ・青少年地域間交流事業(ふれあいサマーキャンプ)は、従来と変わらず事業が実施できたが、教育委員会からの事業の再構築提案について協議を進める。
- ・キッズセミナーは、講座内容の充実を図ることで参加者増となった。キッズセミナーの事業コンテンツを高津区で展開する協議を進めている。
- ・子ども陶芸教室は、参加者が減少している。陶芸教室受講者のボランティアの活躍の場として生涯学習ボランティア養成との関係性を検討する。
- ・生涯学習プラザ施設提供は、1月～3月の夜間利用向上策として利用料金の割引を試行したが利用向上には寄与しなかった。利用促進に向け対応策を検討する。

(2) 生涯学習に関する活動支援事業（公1）

① シニア活動支援事業（定款第4条第1項第2号）

シニア市民を対象に、これまで培ってきた経験や知識及びかわさき市民アカデミー等で学んだ学習成果を、活力ある地域社会づくりや学校支援に生かすことを目的に実施した。

ア) 生涯学習ボランティアの養成
ボランティア養成講座

	修了者		
	28年度	27年度	26年度
小学校PC活用授業ボランティア養成講座 平成28年6月2日(木)～6月24日(月) 全3回	9	12	—
特別支援教育ボランティア養成講座 平成28年10月1日(土)～10月29日(土) 全5回	30	37	29
保育ボランティア養成講座 平成29年2月7日(火)～3月7日(水) 全5回	24	8	10
合計	63	57	39

イ) 生涯学習ボランティアの派遣
ボランティア派遣

		28年度	27年度	26年度
小学校パソコンボランティア	派遣延べ人数	175	175	201
環境学習ボランティア	派遣延べ人数	91	83	83
陶芸ボランティア	派遣延べ人数	17	34	61
特別支援教育ボランティア (※回数は派遣延べ人数と同数)	派遣延べ人数	1,391	1,349	1,008
合計	派遣延べ人数	1,674	1,641	1,353

ウ) 特別支援教育ボランティア交流会

交流会（情報交換会）実施日：9月10日(土)、2月18日(土)

	28年度	27年度	26年度
回数	2	2	2
参加者数	40	37	29

エ) 地域協働講座

学習した知識・経験を活かし地域貢献をめざす目的で、認定NPO法人かわさき市民アカデミーと協働で大学等高等教育機関・地域団体・企業等と連携した講座、ボランティア活動につながる講座等を実施した。

a) 前期

	28年度	27年度	26年度
講座数	5	5	5
参加延べ人数	233	191	215

- A 「かわさきそだち」を知ろう（短期）
- B スポーツ医学の意義と実践（短期）
- C 生活の中に生きている最先端科学（短期）
- D 傾聴ボランティア講座（長期）
- E 地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その12（長期）

b) 後期

	28年度	27年度	26年度
講座数	5	6	6
参加延べ人数	174	207	243
前期後期合計	407	398	458

- A 「かわさきそだち」を楽しもう（短期）
 B スポーツ医学の意義と実践（短期）
 C 今どきのエンディング（短期）
 D 地域社会に貢献している川崎の会社の人々 その13（長期）
 E 発達障がいを理解する（短期）

※長期は10回、短期は5回の講座。

オ) シニア講演会

シニア世代が地域でいきいきと活動し生活するための課題について考える機会として
 中原市民館と共同主催で講演会を開催した。

開催日：平成28年12月1日（木）

テーマ：「笑って笑って いきいき人生！」

講師：しろたに まもる氏

	28年度	27年度	26年度
参加者数	121	156	142

②その他支援事業（定款第4条第1項第1号）

ア) ランチタイムロビーコンサート

生涯学習プラザ1階ロビーを、市内を中心として音楽活動に取り組むグループ等の演奏
 会場として提供し、市民による音楽活動を支援した。

	28年度	27年度	26年度
開催数	11	11	11
延べ来場者数	645	480	665

イ) なかはらママカフェ in 生涯学習プラザ

中原区役所との共催により、生涯学習プラザ1階活動室・ロビーを子育て中のママ・パ
 パ達が気軽に立ち寄り交流できる場として提供し、区の子育て施策を支援した。

	28年度	27年度	26年度
開催数	9	9	9
延べ参加者数	255	334	240

(成果・課題等)

- シニア活動支援では、特別支援教育ボランティア交流会が好評である。特別支援教育ボランティアの養成・派遣は社会的に需要が高い事業ではあるが、事業の財源である財団の特定資産も有限であることから教育委員会等との事業協議が必要である。
- 地域協働講座は、安定した運営が可能な受講定員を確保した。受講者の地域活動への還元手法の検討が必要である。
- シニア講演会は、毎回多くのシニアが参加され、中原市民館との共同主催という形が定着した。
- ランチタイムロビーコンサートは、音楽活動を行う出演者に好評であり、毎回ロビーは満席である。カンパ（寄附）金はこの事業に還元している。
- なかはらママカフェは、好評であり、来年度も引き続き共催依頼がきている。

(3) 生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業（定款第4条第1項第3号）

①学習情報の収集並びに学習相談

市民に幅広く情報の提供を行うため、生涯学習に関わる諸事業や人材・団体情報の収集を行い、これらをもとに市民の生涯学習に関する相談に対応した。

②生涯学習情報誌による情報提供の継続

市民や団体・グループの活動紹介や学習施設紹介、各種講座やイベント案内などを定期的に情報収集し、提供した。

ア) ステージアップ

- 内 容 ・生涯学習の支援及び財団事業の広報
 ・市内の公共・民間の生涯学習・文化情報の提供
 ・市民グループの活動取材
 ・さまざまなジャンルで活躍している市民へのインタビュー
 ・市民アカデミーや財団主催のイベントPR、紹介

	28年度	27年度	26年度
発行部数（A4判 8ページ）	1回10,000部	1回10,000部	1回10,000部
発行回数	年6回(偶数月)	年6回(偶数月)	年6回(偶数月)
配布先数 生涯学習関連施設及び金融機関などの民間施設	668	675	687

イ) かわさきの生涯学習情報（K S J）

- 内 容 ・生涯学習情報の提供及び財団事業の広報
 ・市内の公共施設等の情報や文化情報の提供
 ・市民アカデミーや財団主催のイベントPR、紹介

	28年度	27年度	26年度
発行部数（A4判 4ページ）	1回5,000部	1回5,000部	1回5,000部
発行回数	年8回(奇数月と4月・10月)	年8回(奇数月と4月・10月)	年8回(奇数月と4月・10月)
配布先数 生涯学習関連施設及び金融機関などの民間施設	526	524	513

③インターネット活用による情報提供の継続

ホームページでは、昨年度から構築した「講座・イベント検索システム」を全面リニューアルし、財団の事業のほか川崎市の事業や民間事業者の情報を含め、生涯学習情報を広く市民に提供した。また、「指導者・人材」「団体・グループ」情報を収集し、提供するなど、市民に提供する情報内容の充実を図った。これらの情報提供をメールマガジンでも行った。

ア) ホームページ（ホームページアドレス <http://www.kpal.or.jp/>）

- 内 容 ・生涯学習情報の提供及び財団事業等の広報
 ・市民アカデミーや財団主催のイベントPR、紹介

28年度の取組：トップページのリニューアルや「指導者・人材」「団体・グループ」情報の掲載など、情報の充実を努めた。

	28年度	27年度	26年度
更新回数	661	564	482
web閲覧回数	54,204	52,013	52,422
講座・イベント情報（Web版）掲載数	1,025	655	599

イ) 講座イベント情報検索システム

平成28年4月から様々な検索方法に対応するなど機能の充実した「講座・イベント情報検索システム」に全面的にリニューアルし、市民への生涯学習情報の提供に努めた。

ウ) メールマガジンの登録・配信

生涯学習及び財団事業等の情報を毎月、登録者に配信した。メルマガ登録者数も目標数を上回った。

	28年度	27年度	26年度
発行回数	12	12	12
発信件数(登録者数)	145	118	84

④ FMラジオ放送による情報提供

かわさきFM(毎月第1木曜日の9時15分から)に職員が出演、イベント紹介等を行った。

	28年度	27年度	26年度
放送回数	12	10	0

⑤ 広報媒体の活用による情報発信

- ・ごえんカフェ(8/18・10/8、市民活動センター)に参加し、他団体への情報提供
- ・ごえん楽市(1/28 川崎市市民活動センター)に出展・財団紹介
- ・地域密着型フリーペーパー・ケーブルテレビ(東急イツコム) など

⑥ 今後の事業活動に関する検討分析

28年度は、情報収集および情報提供について以下の分析を行った

- ・市民にとって有用な生涯学習情報の吟味について
- ・情報提供の方法に関するシステムの効率的な運用について
- ・生涯学習に関する相談内容から、情報の収集や提供の方法の考え方について
- ・ホームページのアクセシビリティ対応について

(成果・課題等)

- ・生涯学習情報誌「ステージアップ」は幅広いテーマで多岐に亘る活動を掲載紹介できた。
- ・生涯学習情報紙「かわさきの生涯学習情報(KSJ)」は、講座・イベント情報を提供してきたが、ホームページの講座・イベント情報の充実が図られたことから休止する。
- ・ホームページは、利用者の利便性を高めアクセス数も更新されている状況である。「指導者・人材」「団体・グループ」情報収集を強化する。
- ・かわさきFM放送による情報提供は、スタジオに事業担当者が出演し直接リスナーに向けて話してもらうことで広報効果を高められた。

2 生涯学習関連施設管理運営事業（公2）

(1) 指定管理施設の管理・運営（定款第4条第1項第4号）

教育関連の特定非営利活動法人と共同運営事業体を構成して、川崎市の指定管理業務を受託し、適切な施設運営により生涯学習の裾野を拓げる事業。

<大山街道ふるさと館>

指定管理期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日 平成28年度は3年度目。
認定NPO法人教育活動総合サポートセンターとの共同運営事業体で管理・運営を行った。

二子・溝口は江戸期、東海道の脇往還（大山街道）の宿場町として大いに賑わった古い歴史をもっている。ふるさと館は、こうした大山街道に関わる地域の歴史、民俗、自然に関する資料やゆかりの文化人の作品展示を行うとともに、大山街道にまつわる文化講演会や講座を開催し、高津区民はもとより川崎市民の子どもから高齢者までを対象に、地域の生活・文化などの理解と地域への愛着心の高揚を図ってきた。

これまでの有益な講座等を継承・発展させ、新しい事業等を展開するとともに、施設面での改善等も進めた。

ア) 施設利用状況

	28年度	27年度	26年度
延人数	33,395	33,224	30,697
利用件数	1,860	1,831	1,545

イ) 展示室観覧者数

	28年度	27年度	26年度
延人数	11,091	9,694	8,335
延日数	357	357	312

ウ) 事業実施状況

事業名	参加者数		
	28年度	27年度	26年度
◆博物館事業	電子カウンターの導入時に集計方法を変更 *展示室入場者 ※来館者数		
・第1回企画展「趣味の作品展」～高津区老人クラブ連合会作品展～ 6月17日～20日	984*	357※	300※
・第2回企画展「ある郷土史家のみたふるさと高津～上田恒三氏寄贈史料から～維新動乱期の溝ノ口の当時の様子」6月25日～7月31日	1,272*	1,269※	1,629※
・第3回企画展示「地域が創出するカルチャー展」～趣味が創り出す感動の世界～ 2月25日～3月3日	760*	1,346※	1,012※
・ミニふるさと企画展（廊下展示） ①「多摩川氾濫の歴史」 ②「坂戸・北見方村の歴史」 ③「上・下作延村の歴史」 ・情報機器の活用 1階展示室内にテレビとDVDプレーヤーを設置し、「魅力がいっぱい大山街道～二子・溝口をあるく～」を常時放映。また、オリジナルのDVD「大山街道ゆかりの人々～二子溝口～」を制作。 ・アーカイブ展示通年、ならびにふるさと館まつり（2月25日～3月3日） ・古文書・資料収集ならびに管理・リファレンス（職員研修、史料の整理）			
◆歴史文化探究事業			
・第1回歴史探究講座「東海道 川崎宿」 9月10日	62	51	59

・第2回歴史探究講座 「中原街道 小杉宿」10月15日	53	63	40
・第3回歴史探究講座 「大山街道 二子・溝口宿」2月16日	71	62	57
・街道学習講座「なるほど！歩いて楽しい大山街道」～錦秋の大山街道を訪ねて～ ①10月27日 ②11月10日 ③12月1日	72	83	64
・第1回ふるさと発見講座 「内藤凌雲を中心とした川崎の石工たち」5月14日	60	44	51
・第2回ふるさと発見講座 「江戸中期・川崎宿の復興に尽くした田中兵庫とその人間力」12月7日	47	39	53
・第1回ふるさとまち歩き講座 「溝口～下作延」4月23日	34	23	27
・第2回ふるさとまち歩き講座 「二子新地～諏訪」1月11日	25	19	27年度 講座追加
・子ども大山街道探検クラブ 毎月第3水曜日 二ヶ領用水・溝口神社・二子神社見学、二ヶ領用水清掃、昔遊び、研究発表会 など	344	227	427
・ふるさと子ども出前教室（4校） 東高津小(7月)、高津小(10月) 久地小(1月)、坂戸小(3月)	651	613	761
・中学生のための郷土理解講座 中学生対象 8月8日	19	31	30
・街道学習受入事業（小中高生、大学生への資料提供、助言等随時） 随時、夏休み期間中は強調期間（夏休みキッズウィーク）			
◆地域活性化事業			
・大山街道地域コーディネーター連絡会	11回	11回	11回
・大山街道ふるさと館サポーターズクラブ サポーターズクラブまつり 11月20日 「出張・高津さんの市」 「大山街道ぶらぶら散歩」 「館内スタンプラリー」	来館者 962	来館者 985 ※大山街道 フェスタと 同日開催	27年度 新規事業
<ul style="list-style-type: none"> ・みちまちラウンジ環境整備 ・かわさきかえるプロジェクトへの協力 ・ふるさと館まつり(2月:第3回企画展、第3回歴史探究講座、高津アーカイブ展) ・大山街道フェスタへの協力(2月26日:会場提供、ふるさと館まつり) ・高津区民祭への協力(7月31日:施設提供、企画展、企画展記念講演会) ・高津図書館との連携事業(「子ども大山街道探検クラブの作品展示とおはなし会」) ・地域連携事業 久本小の寺子屋事業(12月14日)、近隣中学校・団体との連携事業等 			
◆その他の事業			
・大山街道ガイドブック 「訪ねて楽しい大山街道」の販売等	223部	287部	268部
・自主事業 ① 街のマイスター体験講座 ア お茶のおいしいいれ方(6月5日 参加19名) イ お酒の話あれこれ(2月1日 参加15名) ② ぶらり散歩～二子散策と老舗料亭「やよい」のお茶を楽しみませんか (11月1日 参加19名)・1階スロープに大山街道の宿場等の提灯の掲示			

(成果・課題等)

- ・ 施設利用（貸館業務）については、件数が伸びていないため、さらに向上するよう取り組みを検証する。
- ・ 博物館事業、歴史文化探究事業、地域活性化事業を年度当初の計画通り実施することができた。
- ・ 市民サービスでは、印刷機の設置、ホームページリニューアル、イベントホールでのスクリーンの設置、和室の畳表替え、配布物の充実などを行い、利用者、来館者の利便性の向上に取り組んだ。
- ・ 春の館まつりやふるさと館サポーターズクラブまつりなどにより、来館者数は伸びているが、地域の交流の場、大山街道の歴史等を発信する場としてさらに向上するよう取り組み方の検討を行う。

<子ども夢パーク>

指定管理期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日 平成28年度は初年度目 NPO法人フリースペースたまりばとの共同運営事業体で管理・運営を行った。

「川崎市子どもの権利に関する条例」を具現化する子どもの活動拠点とし、18歳未満の子どもたちが中心となって自分たちで、自由に遊びながら使い方を考え、つくり続けていく施設である。「冒険遊び場（プレーパーク）」の運営と不登校の児童・生徒の居場所としての「フリースペースえん」の運営を柱としており入場料は無料の施設である。「だれもが自分らしくいられるように」を特色に、多彩で多岐にわたる事業を実施し、子どもたちの夢を育み、子どもたちの健やかな成長を目指してきた。

ア) 施設利用状況

	28年度	27年度	26年度
延人数	88,544	91,895	91,437
団体数	825	769	908

イ) 事業実施状況

事業名	参加者数		
	28年度	27年度	26年度
◆イベント事業			
・GWスペシャルまいにちがプレーパークの日	2,034 (7日間)	1,845 (5日間)	1,533 (5日間)
・あそぼうパン	400	200	115
・夢パまつり2016 ～祝13周年～水遊びスペシャル	2,098	2,170	2,090
・KUJIROCK2016 SUMMER Vol. 34	205	243	320
・KUJIROCK2016 WINTER Vol. 35	268	213	285
・KUJIROCK2016 SPRING Vol. 36	215	220	270
・ゆるROCK (27年度は年1回実施)	15	42	35
・スタジオ会	73	103	60
・こどもゆめ横丁 (かわさき子どもの権利の日事業 子ども夢パーク共同実施)	1,928	828	1,227
・クリスマスイベント	261	145	283

・初夢！新春イベント ～もちつき・どんど焼き・昔あそび～	695	911	880
◆子どもの遊び・活動に関わる事業			
・親子でもっとあそぼう会	228	434	194
・おはなしおはなしパーク	341	166	142
・畑の日(27・26年度は苗植え・収穫祭で実施)	217	集計なし	集計なし
・ベーゴマの日	93	105	178
・野球大会	89	83	77
・スタジオ講習	146	184	180
・スタジオ利用	4,033	4,063	4,595
・スタジオの会（27年度は年5回実施）	79	219	95
・おさがりバザール	3,290	4,010	1,580
・「ふるさと」を歌おう	82	90	50
◆連携事業（子ども・市民・地域・行政等）			
・川崎サマースクール2016 (主催:福島の子どもたちとともに)	81	70	71
・福島親子 in 川崎 夢パークで遊ぼう！ (主催:福島の子どもたちとともに)	74	72	70
・ちいくれんあそぼうデイ (主催:ちいくれん)	100	80	75
・親子でもっとあそぼう会 講演会「遊び場のもつ力」(主催:支援委員会)	31	19	60
・遊び場づくりシンポジウム ～遊びの種をまこう～(主催:支援委員会)	12	40	34

ウ) 自主企画事業

・実習生等の受け入れ	15
・子どもの遊びに関わる大人の養成基礎講座	18

(成果・課題等)

<ul style="list-style-type: none"> ・「夢パまつり」や「こどもゆめ横丁」などのイベントでは子どもが参加しやすい状況を意識し、準備や仕掛けから子どもたちのアイデアが生きる形をできるだけ取り入れ、一緒につくり出せる環境を整えた。 ・自主企画事業「子どもの遊びに関わる大人の養成基礎講座」を実施。こうした企画により、子どもたちの遊びや環境について多くの大人の学びの場を提供した。 ・日常の中で、子どもたちとのかかわりやプレーパークでの活動を更に充実させるため、職員の研修を行なった。救命救急講習や防災訓練の他、夢パーク理念研修を年間6回行ない「プレーパークでの子どもとの関わり」「バウンダリー」などについて講師を迎えて講演を聞き、職員の共通理解や知識を深める機会とした。 ・地域の教育機関との連携を深め、夢パークを知ってもらうために「川崎市小中学校校長会」の研修会の受入を行なった。 ・子どもの権利の周知や夢パークの認知度向上への取り組みを、今後も続ける必要がある。
--

(2) 指定管理申請に向けての取組

川崎市市民ミュージアムの指定管理者制度の導入にあたり、民間事業者と共同運営事業体を構成し平成28年度の指定管理申請を行った。

3 生涯学習及び情報に関する管理運営受託事業（公3）

生涯学習に関する活動及び生涯学習に関する情報の提供を行うことで、川崎市における豊かな生涯学習社会の実現を図ることを目的とした事業

(1) 市民ミュージアム学芸業務（定款第4条第1項第5号）

美術館と博物館の機能を併せ持つ川崎市市民ミュージアムにおいて、川崎市から学芸業務を受託し、企画展や常設展の開催、実習等の体験学習を提供し、市民の文化芸術の振興を図った。

① 企画展

ア) 企画展示室1・企画展示室2

		28年度	27年度	26年度
総観覧者数		37,246	40,974	23,847
a	生きるアート 折元立身展		観覧者数	2,879人
b	「描く!」マンガ展		〃	11,390人
c	&(アンパサンド)がカタチをひらくとき		〃	1,572人
d	昔のくらしと道具 2016		〃	10,157人
e	第50回かわさき市美術展		〃	2,221人
f	旅する人々 東海道五十三次から世界へ		〃	2,804人
g	2016川崎フロンターレ展		〃	6,223人
h	開設80周年記念「多摩川スピードウェイ」逍遙展示空間		13日間	

② アートギャラリー及び博物館展示 ほか

ア) アートギャラリー

第一期

- a シリーズ・映像のクリエイティビティ ナム・ジュン・パイクとシゲコ・クボタ
- b シリーズ・川崎の美術 樋口正一郎・井川惺亮 展

第二期

- c 原画' (ダッシュ) シリーズ 青年マンガの世界 展
- d 山岳写真展
- e ベスト・セレクション 世界旅行に出かけよう

イ) 博物館展示室

- a 民俗 原始 古代 中世 近世 近現代
- b マンスリー展示（毎月テーマを設定し資料を紹介する）
 - 4月 2日～ 4月29日 村の中の大商人 ー長尾村鈴木家の経営ー
 - 4月30日～ 5月27日 高札 ー板に書かれた法令ー
 - 5月28日～ 6月24日 村役人をめぐる騒動
 - 6月25日～ 7月29日 宿場を助けた村々 ー東海道川崎宿と助郷ー
 - 7月30日～ 8月26日 夏休み子どもマンスリー 新聞のうつりかわり
 - 8月27日～ 9月30日 江戸時代の宮内村
 - 10月 1日～10月28日 旅する幸豊 ー砂糖の普及をめざしてー
 - 10月29日～11月25日 丸子の渡し
 - 11月26日～12月28日 徳川將軍菩提寺と川崎 ー増上寺領の村々ー
 - 1月 4日～ 1月15日 初春マンスリー 江戸・明治時代のカレンダー
- c 近現代展示室 特集展示
 - 2月20日～ 5月20日 多摩川架橋の歴史
 - 5月21日～ 8月19日 はじめての選挙

8月20日～11月18日 伝染病と地域政治
 11月19日～平成29年1月15日 川崎のくだもの

ウ) 館外展示

- a 川崎の歴史と文化 川崎市役所第三庁舎 1階ロビー
 - 第19期 4月4日～6月24日 「戦後川崎港の再出発」
 - 第20期 6月27日～8月26日 シリーズ川崎の遺跡IV 「二子・諏訪古墳群」
 - 第21期 8月29日～11月25日 「考古発掘速報展 2016上半期」
 - 第22期 11月28日～平成29年1月27日 「戦争のメモリアル」
 - 第23期 平成29年1月30日～3月31日 「考古発掘速報展 2016下半期」

③ 映像ホール・ミニホール

ア) 映像ホール上映事業

	28年度	27年度	26年度
総入場者数	8,580	5,474	4,100

- a はるかなる山々
- b 音楽家の人生
- c ポーランド映画祭 2015 in 川崎
- d 戦後ポーランド映画の系譜
- e セミョーン・アラノヴィッチ特集
- f 社会派エンタテインメント
- g ゴジラあらわれる! 「映像のまち・かわさき」連携上映
- h 映像のクリエイティビティ
- i マンガを描く人々 ～「描く!」マンガ展関連上映
- j 映画で見る平和への願い
- k 永遠のオリヴェイラ マノエル・ド・オリヴェイラ監督追悼特集
- l 旅する映画 ～「旅する人々」展関連上映～
- m 川崎ゆかりの映画人
- n インディペンデント映画特集

イ) ミニホール上映事業

	28年度	27年度	26年度
総入場者数	612	934	450

- A 日本の伝統・工芸品・極める匠の世界 (第一週)
- B 祭りの記録映像 (第二週)
- C 牛山純一と仲間たち テレビドキュメンタリー (第三週)
「美術のみかた」シリーズ 「オルセー美術館」シリーズ
- D 日本映画傑作選 日本の喜劇映画 (第四週 午前・午後2回上映)

④ 教育普及との連携事業

	28年度	27年度	26年度
総参加者数	13,484	12,386	15,868

- a 出張・来館プログラム 参加者数 1,162人
- b 歴史散策「多摩区菅を歩く」 // 24人
- c 遺跡めぐり「ミュージアム」 // 20人
- d 「昔のくらしと道具 2016」団体受入 9校 // 1,027人
- e 古文書講座 (4回) // 延べ 196人
- f 夏休みこどもミュージアム紙すき体験WS // 29人

g	勾玉をつくろう	〃	46 人
h	かわさき歴史点描	〃	89 人
i	ミュージアム講座（3回）	〃	延べ 58 人
j	ベビーカートツアー「昔の暮らしと道具 2016」	〃	9 人
	「旅する人びと展」	〃	7 人
k	未来の暮らし「モノ語り」づくり WS	〃	16 人
l	社会科教育推進事業	〃	8,707 人
m	美術館系プログラム		
	「流し絵と折鶴に着彩しよう」	〃	28 人
	「夏休みこどもミュージアム」		
	シルクスクリーンでオリジナルグッズをつくろう	〃	21 人
	「対話型鑑賞会」	〃	19 人
n	「ベストセレクション」展関連		
	・東海大学連携 WS「ミュージアムで世界旅行」	〃	294 人
	・福祉プログラム「視覚障害者をつくる美術鑑賞 WS ことばで旅するコレクション」 (視覚障害者・聴覚障害者・晴眼者)	〃	15 人
o	企画展等関連講座・イベント等		
	「生きるアート 折元立身」展関連	〃	236 人
	「&がカタチをひらくとき」展関連	〃	646 人
	「描く！」マンガ展 関連	〃	564 人
	「青年マンガ」展 関連	〃	164 人
P	みんなで考える「ミュージアム・図書館・文化芸術×福祉がひらくユニバーサル な未来」フォーラム&WS	〃	39 人
q	職業体験	〃	68 人

⑤ 調査・研究

- ア) 鶴見大学との保存処理に関する共同研究（市域横穴式石室の石材に関して）
- イ) 多摩川流域遺跡群研究会との井田伊勢台古墳群調査（報告書刊行）
- ウ) 多摩川低地における微細地形と遺跡立地に関する基本調査
- エ) 昭和 30 年代後半国鉄川崎駅前景観調査
- オ) 川崎市域周辺における富士山信仰の基礎調査
- カ) 川崎の民具名称調査（漁撈関係資料について）
- キ) 宮内・岡上地区の歴史民俗調査
- ク) 考古・歴史・民俗の収蔵資料に関する調査・研究
- ケ) 研究紀要の執筆 1,000 部
- コ) 学習院大学との漫画資料に関する共同研究
- サ) 新たな川崎ゆかりの作家・人物に関する調査

(成果・課題等)

- ・ 博物館部門では企画展として、「旅する人びと」展では、江戸時代から昭和初期にかけての旅について各地の美術館博物館が所蔵する優品を集めて、旅日記や浮世絵、絵巻をはじめとしてさまざまな資料から当時のリアルな旅の姿を活写した。学校への出張授業や地域への講師派遣などアウトリーチ（地域への出張サービス）、団体見学対応など機会が増えた。調査研究では、大学との共同研究、市域の歴史民俗に関わる調査などに取り組み、成果の一部は展示に活用し、報告書として刊行した。

- ・ 美術館部門では、川崎生まれで日本を代表する現代美術作家の一人である折元立身の企画展「アート×ライフ 折元立身」を開催し、国内で久々の大規模個展として美術界で注目を集め、メディアでも大きく取り上げられることになった。アートギャラリーでの企画展「&(アンパサンド)がカタチをひらくとき」は、若手現代作家の協力のもと、展示とワークショップそしてトークを行い、来場者、市民と作家との交流を目指す新たな現代美術展にチャレンジした。漫画セクションの展示として「描く!」マンガ展を開催した。充実した内容の漫画展であり、首都圏の漫画愛好者や漫画ファンを数多く集め、1万人を超える来場者を記録した。

アートギャラリーでは、収蔵作品を中心に魅力的なテーマで展示企画を組んだ。漫画展示は、京都国際マンガミュージアムと連携して、精巧な複製、原画’(ダッシュ)による「青年マンガの世界」展を実施し、ギャラリーでの展示の幅を広げた。普及活動では、新たな取り組みとして、視覚障がい者を対象とした対話型の鑑賞法を試みた。

上映事業では、映像ホール上映事業の総入場者数が、8,580人(工事休館3か月)と、年度目標値(6,570人)を大きく上回り、前年度(工事休館3か月)比では約1.5倍以上の(157%)伸びを記録した。昨年度の報告では、映像ホールの入場者数低迷を課題として挙げたが、今年度はその課題を克服した。

【市民ミュージアム全体】

企画展では、前年と同数の7企画の実施でありながら、観覧者数は前年度比で4,000人の減となった。27年度の「江口寿史展」に引き続き「描く!マンガ展」、例年の「くらしの道具展」は1万人を越える観覧者があったことから、その他の企画展で予定観覧者数から大きく落ち込んだことがその要因である。映画上映は、通年上映であった27年度に比して、観覧者数は3,000人ほど上回った。学芸員の企画力の成果といえる。

(2) 青少年育成事業

①地域の寺子屋事業

ア) 寺子屋先生養成講座(川崎市教育委員会の受託事業)

期	期間	回数	会場	受講生数	延べ参加人数
1期	平成28年 5月18日(水) ～ 6月15日(水)	全5回	生涯学習プラザ他	38	159
2期	平成28年 9月14日(水) ～10月12日(水)	全5回	高津市民館他	31	143
3期	平成28年10月20日(水) ～11月24日(木)	全5回	多摩市民館他	15	63
4期	平成29年 1月18日(水) ～ 2月15日(水)	全5回	教育文化会館他	38	175
28年度合計 4期		全20回		122	540

イ) 「中原区寺子屋ネットワーク」の支援

- ・ 中原区寺子屋ネットワーク会議
- ・ 「地域の寺子屋事業」情報交換会

平成29年2月22日(水) 10:00～11:30、中原市民館多目的ホール

基調講演 玉川大学教授・川崎市教育委員 中村 香

参加者：45名

(成果・課題等)

- ・ 青少年育成事業受託は、地域の寺子屋先生養成講座受託だけとなった。
- ・ 「寺子屋先生養成講座」は、川崎区、中原区、高津区、多摩区の4区で122名の受講があった。来年度は7区全区で講座を開講する。
- ・ 地域の寺子屋事業については、財団において地域の寺子屋関連事業を一括して受託実施する提案に対して、財団は「寺子屋先生養成講座」を受託実施、その他の事業は市が教育文化会館・市民館を中心に事業展開することで教育委員会事務局と事業分担を確認した。

(3) 川崎市ふれあいネット「生涯学習情報」の管理

川崎市教育委員会の受託事業として、生涯学習に関する情報（施設、講座、催し物、団体・グループ、指導者・人材）を収集・入力業務を行った。

	28年度	27年度	26年度
入力件数	1,243	1,064	2,082
利用件数	5,662	7,693	12,681

(成果・課題等)

- ・ 「ふれあいネット」の生涯学習情報提供事業が、平成29年3月末で終了するのに伴い、平成29年度からは当財団がもつ「講座・イベント情報検索システム」などのシステムに情報が移行されることになり、その運営を当財団が委託を受けることになった。
- ・ 生涯学習情報の移行にともない、現在の登録者（団体・グループ、指導者・人材登録は延べ600件）への移行案内を出し、情報入力（両情報併せて200件超）を行った。

II 収益事業

1 生涯学習に関する多彩な体験講座事業（収1）

(1) スポーツ教室（定款第4条第1項第1号）

市民が体力や状況に合わせたトレーニングやエクササイズなどに気軽に参加することで、健康な身体づくりと受講生同士の交流をめざし、「健康・体力づくりスポーツ教室」として実施した。

教室名	教室数	参加者数	延べ人数		
			28年度	27年度	26年度
ヨーガ	6	260	2,305	2,438	2,446
気功太極拳	6	203	1,921	2,065	1,973
ストレッチ健康体操	3	75	706	632	437
たのしいフラダンス	3	74	752	576	704
ストレッチ&リズム体操	3	87	779	671	776
エアロビクス◆	3	120	1,120	800	933
ボディメイクエクササイズ◆	-	-	-	525	685
ピラティス◆	3	83	775	721	-
ママのピラティス（親子）	-	-	-	159	591
親子リトミック（親子）	3	71	571	834	1,324
ZUMBA	3	104	820	291	-
骨盤エクササイズ	3	66	650	206	-
からだをつかって英語で遊ぼう	3	79	639	202	-
合 計	39	1,222	11,038	10,146	9,869

*親子リトミックは親子一組でカウントしている。 ◆は保育付き

*ピラティス(1期から)、ZUMBA(3期から)、骨盤エクササイズ(3期から)、およびからだを使って英語で遊ぼう(3期から)は、平成27年度からの教室である。他は、昨年度と同様1期～3期実施。

(2) 文化教室（定款第4条第1項第1号）

市民が手軽に趣味や生活技術等を学ぶことや受講生同士の交流をめざし、「キラリ文化教室」として実施した。

	教室名	28年度		27年度	
		受講者数	延べ人数	受講者数	延べ人数
春期 5月12日 ～ 7月15日	楽しく歌の教室	21	79	28	116
	落語入門	24	93	15	69
	写真教室	23	103	30	131
	メディカルハーブ&アロマテラピー	24	106	23	106
	色えんぴつ画入門	20	81	7	29
	ワインを気軽に楽しむ	23	103	23	99

秋期 10月 6日 ～ 12月18日	楽しく歌の教室	25	104	31	123
	切り絵教室	15	99	12	58
	写真教室	23	102	23	106
	お花屋さんのアレンジメント	15	28	19	88
	メディカルハーブ&アロマセラピー	24	109	22	98
	ワインを気軽に楽しむ	23	105	23	103
	色えんぴつ画入門	18	86	—	—
	落語入門	19	87	—	—
冬期 2月 4日 ～ 3月18日	楽しく歌の教室	23	89	28	68
	色えんぴつ画入門	20	57	20	54
	写真教室	23	65	23	61
	完璧を目指さない片づけ術	36	67	34	99
	メディカルハーブ&アロマセラピー	24	67	21	58
	歴史散歩	22	43	12	31
合 計		445	1,673	394	1,497

※実施回数は、春期・秋期は各教室とも5回、冬期は3回である。

(3) 陶芸教室

市民が陶芸を通して作品に対する豊かな感性を磨くとともに、技術の習得や受講生同士の交流をめざす陶芸教室、広く受講生を募集する「陶芸『一般開放』」、初心者を対象とした「初心者陶芸教室」を実施した。

ア) 「陶芸教室」水・土曜日 (各コース全12回)

		28年度	27年度	26年度
・手びねりコース (2コース×3期)	参加者数	71	79	72
	延べ人数	852	948	864
・ろくろコース (2コース×3期)	参加者数	65	65	65
	延べ人数	780	780	780

イ) 「陶芸『一般開放』」木・金曜日 (各コース全3回)

		28年度	27年度	26年度
・手びねりコース (16コース×3期)	参加者数	205	218	227
	延べ人数	615	654	681
・ろくろコース (16コース×3期)	参加者数	490	487	470
	延べ人数	1,470	1,461	1,410

ウ) 「初心者陶芸教室」

平成28年5月10日～6月14日 (全5回)

	28年度	27年度	26年度
実施回数 (教室数)	1	1	2
受講生数	11	12	23
参加者延べ人数	55	60	115

(4) パソコン教室（共催）

NPO法人「RKH研究所」との共催で実施。パソコンの基本的操作から応用操作まで参加者のニーズに合わせた講習を行った。

	28年度	27年度	26年度
実施回数	33	39	37
参加者延べ人数	126	159	162

(成果・課題等)

- ・ スポーツ教室、文化教室とも企画を工夫し、新規教室の開講を行うなど受講生増になった。受講生の確保及び支出の削減に努め収益を確保した。
- ・ 今年度は冷房が不調で、特にスポーツ教室においては扇風機や保冷剤などによる対応を行った。冷暖房設備の改善が課題である。
- ・ 陶芸教室は、継続者が多いことで収益の安定性が図られている。経験を活かしたボランティア活動につなげることができている。
- ・ 新たな受講生の獲得や実習室の利用方法等の検討が課題である。
- ・ パソコン教室は、支出が収入を上回る結果が続いたため、28年度でこの共催事業を終了することとした

2 生涯学習関連施設職員研修事業（収2）

(1) 放課後子ども総合プラン職員資質向上研修受託（定款第4条第1項第5号）

川崎市の生涯学習関連施設であるこども文化センター・わくわくプラザ等の職員の質的向上を目指した市の業務を受託し実施した。

①期間 平成28年6月25日～12月17日（全14回）

②内容

内容	回数	対象者
管理職としての危機管理能力	2	館長・リーダー
地域とのマネジメント能力（保護者・家庭）	2	全職員
地域とのマネジメント能力（学校と地域）	1	全職員
危機管理能力とアレルギー対応	2	全職員
障害児への対応について	2	全職員
日本語が未習熟な児童への対応について	1	全職員
児童虐待について	1	全職員
中高生への対応について	1	全職員
安全管理・事故防止	1	全職員
子どもの権利	1	全職員

③受講者数

	28年度	27年度	26年度
受講者数	1,288	1,295	1,400

(成果・課題等)

- ・ 職員研修受託事業は、公益性もあり確実な収益が見込まれる事業であることから、来年度も事業受託に向け充実した研修内容の提案で入札する。

Ⅲ その他の事業（定款第4条第1項第5号）

1 他の機関、団体が行う事業への協力（定款第4条第1項第5号）

<共催>

- (1) NPO法人RKH研究所 各種パソコン関連講座開催への共催
- (2) なかはらママカフェ in 生涯学習プラザの共催

<後援>

- (1) 第21回海外高校生による異文化交流プログラム開催に伴う後援
- (2) 川崎童謡の会七夕コンサートの開催に伴う後援
- (3) 第26回体操フェスティバルかわさき2015開催に伴う後援
- (4) ゆりがおか児童合唱団 第40回定期演奏会の開催に伴う後援
- (5) 第14回おと絵がたり本公演の開催に伴う後援
- (6) かわさき体操の集い2016の開催に伴う後援
- (7) 健康体力フェア2017の開催に伴う後援
- (8) 第2回中原地域フォーラム開催に伴う後援
- (9) 第3回中原地域フォーラム開催に伴う後援
- (10) 第22回KAWASAKIしんゆり映画祭2016開催に伴う後援
- (11) かわさき市民フロンティア体験講座の開催に伴う後援
- (12) 第1回中原地域シンポジウムの開催に伴う後援

2 職員研修（定款第4条第1項第5号）

開催日	内容	対象	参加数
4月1日	生涯学習財団について 新規採用職員研修	財団職員 (新規採用職員)	6
4月21日	メール、セキュリティ研修	財団職員	10
5月10日	生涯学習プラザ設備研修	財団職員	13
6月21日	経理事務研修について	財団職員	8
7月5日	応急手当研修、普通救命講習	財団職員	9
9月6日	チラシ作成研修	財団職員	13
9月28日	Word 研修基礎編	財団職員	10
10月20日	Word 研修応用編	財団職員	13
11月9日	Excel 研修基礎編	財団職員	12
11月17日	Excel 研修応用編	財団職員	12
1月6日	チラシ写真撮影研修	財団職員	20

3 消防・防災訓練

(1) 平成28年8月29日(月) 9時00分～10時00分

- ①訓練種別 防災訓練
- ②訓練内容 ア 非常放送設備の取り扱い
イ 避難誘導
ウ 救助、応急処置
エ 帰宅困難者対応訓練
オ 消防署担当者による指導
カ 消火栓ホースによる放水訓練

(2) 平成29年2月27日(月) 9時00分～9時30分

- ①訓練種別 消防訓練
- ②訓練内容 ア 火災受信機、非常放送設備の取扱
イ 通報・避難誘導訓練
ウ 消火器による消火訓練
エ 避難器具（オリロー、緩降機）の取扱

4 職員採用（定款第4条第1項第5号）

●平成28年度職員の採用・選考について

- (1) 学芸室（非常勤専門嘱託職員）平成28年4月1日採用 公募1名
 - ・募集期間 平成27年12月2日～平成28年1月19日
 - ・応募者 9名 採用0名（博物館：日本近現代史）
- (2) 学芸室第2次募集（専門嘱託職員）平成28年4月1日採用 公募1名
 - ・募集期間 平成28年1月28日～2月22日
 - ・応募者 3名 採用1名（博物館：日本近現代史）
- (3) 事業推進室1名・学芸室総務課1名（一般嘱託職員）平成28年4月1日採用 推薦2名
- (4) 子ども夢パーク副施設長（一般嘱託職員）平成28年4月1日採用 推薦1名
- (5) 総務室長・事業推進室長（管理運営嘱託職員）平成28年4月1日採用 推薦2名
- (6) 総務室（非常勤嘱託職員）平成28年5月1日採用 公募1名
 - ・募集期間 平成28年4月1日～4月11日
 - ・応募者 3名 採用1名
- (7) 大山街道ふるさと館（非常勤嘱託職員）平成28年5月1日採用
 - ・総務室応募者から選考 ・採用1名

5 評議委員会等の開催状況について

	開催年月日	主な決議事項等
評議員会	平成28年 6月16日	決議事項 ・平成27年度決算に係る計算書類の承認について ・理事の選任について ・監事の選任について ・評議員の選任について
理事会	平成28年 5月25日	決議事項 ・平成27年度事業報告の承認について ・平成27年度決算に係る計算書類の承認について ・行政庁への定期提出書類の承認について ・第1回評議員会（定時）の開催について ・評議員の候補者について ・理事の選任(案)について ・監事の選任(案)について ・平成28年度収支補正予算について ・給与規程及び職員退職手当支給規程の一部改正についての理事長の専決処分の承認について
理事会	平成28年 6月17日	決議事項 ・理事長の選定について ・副理事長及び常務理事の選定について
理事会	平成28年11月18日	決議事項 ・臨時職員就業規程の一部改正についての理事長の専決処分の承認について ・川崎市生涯学習プラザ施設等使用規程の一部改正について ・平成28年度第二次収支補正予算について
理事会	平成29年 3月13日	決議事項 ・平成28年度第三次収支補正予算について ・平成29年度事業計画について ・平成29年度収支予算について ・生涯学習推進特定資産の一部取崩しについて ・給与規程の一部改正についての理事長の専決処分の承認について ・行政庁への「事業の一部廃止に伴う変更認定申請」について ・行政庁への定期提出書類「資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」の承認について ・理事の職務権限規程の一部改正について ・処務規程の一部改正について ・個人情報保護管理規程の一部改正について ・臨時職員就業規程の一部改正について ・嘱託職員就業規程の一部改正について ・会計規程の一部改正について ・旅費支給規程の一部改正について ・育児休業等に関する規程の一部改正について ・規程の一部廃止について